



やさしさパワーアップ大作戦

桜舞館小学校 四年 七種 結香

わたしは、オレンジ教室で認知症サポーターの方と認知症の学習をしました。認知症のことをくわしく学んだり、自分たちに何ができるのかを考えたりしました。

わたしは、認知症と聞いて、すぐわすれてしまってもできなくなると、認知症は、すぐ聞いたことをわすれて、とっても困ることがあるけれど、全部できなくなるわけではないことが分かりました。だから、自分でできることがあるとうれしいし、何かできなくておこられると悲しい気持ちになることが分かりました。それを聞いて、わたしはやさしく教えてあげると悲しい気持ちにならないと思いました。

わたしは、総合的な学習の時間に、特別養護老人ホーム竹里館のおじいちゃん、おばあちゃんと交流会を行っています。竹里館のおじいちゃん、おばあちゃんが笑顔で楽しんでもらえるような交流会にしたいと思っています。だから、

わたしは、総合的な学習の時間に、特別養護老人ホーム竹里館のおじいちゃん、おばあちゃんと交流会を行っています。竹里館のおじいちゃん、おばあちゃんが笑顔で楽しんでもらえるような交流会にしたいと思っています。だから、

オレンジ教室で学んだ「やさしく」ということを意識して、どうすればおじいちゃん、おばあちゃんたちが楽しんでもくれるか、グループの友だちと話し合いました。わたしたちのグループは、リコーダーで「茶つみ」のえんそうをすることにしました。「茶つみ」をえらんだのは、おじいちゃん、おばあちゃんが知っている曲だと思ったからです。

一回目の交流会では、楽しく出し物をしたり、プレゼントをわたしたりしました。おじいちゃんやおばあちゃんがよろこんでくれたのでわたしもうれしい気持ちになりました。でも、ふり返つてみるとおじいちゃん、おばあちゃんのことを考えて伝えることをあまり意識していませんでした。竹里館のしよく員さんには、「大きな声で」「ゆっくり」というアドバイスをもらいました。二回目の交流会は、もっとうまく交流できるようにみんなで協力していきたいです。

この学習をとおして、相手のことを正しく知って、どうしたら相手によるこんでもらえるか考えて行動することが大切だと分かりました。これからお年よりのことや友だちのためにできることを考え、やさしさを広げていきたいです。

この作文は、七種さんが三年生のときに書いたものです。

総合的な学習の時間をおして、認知症の方や高齢者の方の気持ちを考えることができたね。相手の気持ちを分かってうとし、相手のために何ができるか真剣に考えることができる結香さんは素敵だと感じました。

コロナ禍でなかなか多くの人と関わる機会が少ないですが、これから出会う人や周囲の人、様々な立場の人に温かい気持ちで接し、人と人との繋がりや輪を広げてほしいです。

この作文は、七種さんが三年生のときに書いたものです。

この作文は、七種さんが三年生のときに書いたものです。

「特設人権相談所」を開設します

6月1日は「人権擁護委員の日」です。人権擁護委員がさまざまな相談に応じます。

日時 6月1日(木)午前10時～午後3時
場所 山川市民センター
相談内容 家庭内の悩みごと、近所とのトラブル、いじめ、差別など
相談無料、秘密厳守

柳川人権擁護委員協議会(TEL72・2640)
人権相談(無料)
ひとりでも悩んでいませんか
【人権何でも相談所】

日時 5月17日(水)午後1時～4時
場所 あたご苑

相談内容 いじめ、体罰、部落差別・男女差別・外国人差別などの差別問題、家庭内(夫婦、親子、結婚、離婚、扶養、相続など)・借地借家・隣接関係のもめごと、悩みことなど
【女性相談所】

日時 5月11日(木)午前10時～午後3時
場所 福岡法務局柳川支局

相談内容 原則として女性からの相談
※女性の人権擁護委員が相談に応じます。
【常設相談】

時間 午前8時30分～午後5時15分(土、日、祝日を除く)
場所 福岡法務局柳川支局
相談担当者 法務局職員または人権擁護委員
相談電話番号 (TEL)0570・003・110
福岡法務局柳川支局(TEL72・2640)

農業 田原 輝彦さん

大草地区でナスの栽培を営み、J Aみなみ筑後の瀬高なす部会の青年部長も務めている田原輝彦さん。以前は、客船やイージス艦などを造る仕事をしてきた。奥さんの実家のナス農家を継ぐために長崎県から引越して、今年で就農7年目を迎える。
「引越した次の日にはハウスの中にいました」と笑いながら話してくれた。
支えてくれた地域の輪
「ナスの栽培方法や技術はどんどん新しくなっているので、分からないことを聞ける人がいなくなったことが辛かったです」
就農したばかりの田原さんを支えてくれたのは、奥さんや義理の両親、そして近所の農家の先輩たちだった。

「よく声をかけてもらったり、技術を持っていて人を紹介してもらったり、いろいろな形で支えてもらいました。大草はナス農家が多い地域なので、そのつながりの中に入れたことが吉ですね」
仕事以外の活動も
みやま市子ども連絡協議会の特別役員や消防団員としても活動している田原さんは、多忙ながらも充実した日々を送っている。
「地域での活動でできた人とのつながりが、仕事や生活の中でも生きています。これまでに支えてくれた妻への感謝の気持ちも込めて、地域の皆さんと頑張っています」
船造りとは違う喜び
田原さんは、農業を減らし、有機肥料を中心にナスを栽培している。ICT(情報通信技術)を用いた農業の研究にも取り組むみやま市のナス栽培を引っ張っている。
「自分が作った食べ物で人の体ができていく。自分が作ったナスを、「おいしい」と直接褒めてもらえるのは、船を造っていたときは違う喜びがあります。これからは最新技術を活用し、人とのつながりも大切にしながらより大規模なナス農家を目指します」



たはら てるひこ
趣味は釣りや船、スニーカーコレクション、旧車バイクなど。長崎市出身。
【みやま市にひとこと】
長崎から移住した私を温かく迎えてくれたみやま市の皆さんへの恩返しのためにも、みやまの農業を全国にアピールしていきたいと思ひます。

みやま文芸

真清水俳句会

三姉妹大道芸の子どもの日 榊島美代子

藤房に絡まる風を見にゆかん 平井 和子

二十年経って咲き出す夏椿 宮地 末子

傘たたみふり返り見る虹の橋 森田 蓉子

雪渓をアイゼンつけて雲の上 梅野 博山

あめんぼう風に吹かれて後戻り 紙田 幻草

清水句会 綿貫 惇

花びらと共にたたみし花筵 綿貫 惇

日程を花にあはせて組み替ゆる 田尻カツ子

落花舞ふ風心地よき札所寺 綿貫 淑子

一陣の風屋簷にも飛花落花 古賀 麗子

朝光の揺るる水面や葦の角 岩屋 清美

ある無しの風にふはりと乗りし花 壇 篤子

癒されし眺めるだけの花万葉 猿渡 洋子

※俳句・短歌は市内の団体から提供いただいたものを順次掲載しています。